

稲城野草散策の会

野草スケッチ カシワバハグマ（キク科）



1996/10/15 稲城市坂浜口 絵と文 Ta

カシワバハグマを初めてみたとき、その存在感の確かさに、圧倒されるような感じを覚えた。

稲城へ来て、南山などをフィールドにして間もないころである。

曾根先生（故人）の観察会で教えていただいたのだった。

会報第36号 2007年12月16日発行 発行責任者 尼子 房夫

自分で見てまわっても、他の場所ではカシワバハグマは見つからない。
聞けば、それほど珍しいものではない、稲城にはもっとたくさんあるはず、という話であった。

当時、私が歩いている範囲は、ごく限られた道順だったように思う。
それならと、違う道を探しても、どういうわけか出てこない。
あるとき、道とはいえないような、細い道へ分け入ったことがあった。
雑木林の手入れのときにでも使う道であろうか。
林の中は高木に混じって、クロモジやツツジなどの低木が生い茂っている。
その間を縫うように細々と道が続いていた。

林の片隅、少し開けた場所にカシワバハグマがあった。
すでに花は終わっていたが、特徴のある葉が存在を誇示している。
そうだったのか。
道路わきにはあまり出てこず、林の中のやや明るい場所でひっそりと咲いているのだ。
こいつ、意外とシャイなのかもしれないな、と思った。

生育環境はなんとなくわかった。林に入り込んで探せばいい。
いままで歩いたこともない、半ば藪漕ぎになるような道を見つけては入り込んだ。
南山から、ゴルフ場（読売カントリークラブ）の外縁をたどって、駒沢学園の裏へ抜けるルートを「発見」した。
サイハイランやエビネなどもあることがわかった。
いままで、雑木林は私をよそ者扱いで、本当の姿を見せていなかったのではないか。
カシワバハグマのおかげで、ようやく雑木林から受け入れてもらえたような気がした。
坂浜などでも、次々にカシワバハグマを確認できたのだった。

カシワバハグマの花びらは独特の形をしている。
子供のころ、大工さんがかんなを掛ける傍で見ているのが好きだった。
しゅるしゅるしゅるとかんなくすが吐き出される。
先っぽがゼンマイのようにくるくる巻かれるのが面白くて、飽かず見入っていたっけ。
カシワバハグマの花びらは、まさにかんなくすのミニチュアだ。

このシリーズでたびたび登場する西小田良谷戸の奥に、小規模な雑木林がある。小規模とはいえ、この林に降った雨水が湧き水となって、西小田良谷戸の田んぼを潤しているのだ。

スケッチしたのは、その林であった。

立派な株がいくつも咲いている。

いい林だなあ、と改めて思った。

林の裏側には人家や畑があって、車の通る道路も作られている。

この林を切り払って、宅地にする計画が進められていることを最近聞いた。

「林がなくなりゃ水も枯れるだから、もう、田んぼはできねえな」

西小田良谷戸で出会った農家の方の言葉である。

私のフィールドが、また一つ消えていくのか。

時代の流れとはいえ、やりきれない感じはぬぐえなかった。

* * * * *

〔観察記録〕 10月27日 秋川・小峰公園

台風接近で大荒れの天候にもかかわらず、熱心な人たち7名が集まりました。少人数だったので、Taさん、めりべさんから詳しい説明を聞くことができ、二人を囲んで討論ができる有意義な一日でした。当日観察した植物を整理しましたので、添付します。(満井 喬)

◆観察記録(満井 喬)

アラカシ、イラクサ、カラムシ、アオミズ、カジノキ、アキノレ、イヌタデ、ハナタデ、イシミカワ、ヤノネグサ、ケアリタソウ、サネカズラ、ロウバイ、センニンソウ、ポタンヅル、キツネノボタン、サラシナショウマ、ウマノスズクサ、チャノキ、オオバタネツケバナ、モミジイチゴ、ニガイイチゴ、フユイチゴ、ミヤマフユイチゴ、マルバウツギ、ベニバナトキワマンサク、オノマンネングサ、マルバマンネングサ、ツルマンネングサ、ネムノキ、フジカンゾウ、ゲンノショウコ、アメリカフウロ、ハツユキソウ、コニシキソウ、ミヤマシキミ、フウセンカズラ、オオイタヤメイゲツ、タラヨウ、ノブドウ、ツタ、オクラ、トロロアオイ、ケナフ、カラスノゴマ、ツルグミ、チョウジタデ、ミソハギ、セントウソウ、ヤマゼリ、タラノキ、キツタ、オカトラノオ、ヒイラギ、アキノタムラソウ、キバナアキギリ、ヤマハッカ、モミジルコウ、アサガオ、マルバアサガオ、アメリカアサガオ、ヨルガオ、マメアサガオ、キリ、クサギ、ビジョザクラ、ヒヨドリジョウゴ、アメリカイヌホオズキ、キダチチョウセンアサガオ、ヨウシュチョウセ

ンアサガオ、ソクス、アキノノゲシ、ノハラアザミ、タイアザミ、アキノキリンソウ、ノコンギク、シラヤマギク、キバナガンクビソウ、ノブキ、フジバカマ、オニノゲシ、キチジョウソウ、ツルボ、ヤブミョウガ、アシボソ、ササガヤ、ノガリヤス、アブラススキ、チカラシバ、カヤツリグサ、コゴメガヤツリ、ナキリスゲ、ウコン、コウヤマキ

〔フローオフ〕 11月3日 秦野・弘法山

秦野・弘法山公園オフに参加のみなさま、お疲れ様でした。蓋を開けてみたら、参加者が15名になり、にぎやかに、かつ密度の濃いオフになったように思います。

天候にも恵まれ、権現山から見た富士山の眺めもすばらしいものでした。後半、尾根道が長く続いてやや疲れましたが、脱落も怪我もなく、無事に駅までたどり着けて、ほっとしました。

やはり、本番でこのコースを歩き通すのは若干無理があるように感じます。いいフィールドなので、行事として取り上げる場合には権現山から別の道を下って秦野駅に戻るなどの変更が必要になりそうですね。(T a)

◆秦野・弘法山公園オフのコース

GPSデータをカシミールの地図に落としました。赤い線が歩いたコースです。



◆観察記録 (満井喬)

オニグルミ、イヌシデ、ヤマハンノキ、イヌビワ、クワクサ、ケヤキ、ムクノキ、ヤブニッケイ、ダンコウバイ、ヤマコウバシ、タブノキ、シロダモ、ポタンツル、アオツツラフジ、オオバウマノスズクサ、オトギリソウ、カマツカ、キンミズヒキ、ヒメキンミズヒキ、ウワミズザクラ、トキリマメ、マルバハギ、クサフジ、オオバクサフジ、アカメガシワ、サンショウ、カラスザンショウ、ヤマハゼ、マユミ、コマユミ、ニシキギ、ゴンズイ、ケンポナシ、サンカクツル、オニシバリ、

アキグミ、キブシ、アレチウリ、ハリギリ、キツタ、クマノミズキ、ヤブコウジ、イボタノキ、アカネ、ヤマハッカ、イヌコウジュ、クサギ、ムラサキシキブ、コシオガマ、オトコエシ、コウヤボウキ、アキノキリンソウ、トネアザミ、ヤクシソウ、オケラ、マルバフジバカマ、サワヒヨドリ、シロヨメナ、リュウノウギク、ヤブタバコ、コヤブタバコ、ノブキ、センボンヤリ、ベニバナボロギク、ノガリヤス、アブラススキ、トダシバ、ナキリスゲ、サイハイラン

〔フローラオフ〕 11月7日 秋川～滝山城址

今回もいい天候に恵まれたオフでした。新しいフィールドはいつもわくわくします。参加者が11人にもなって、わいわいやりながら歩きました。期待していたサクラタデにも出会えたり、花は少なかったものの田んぼ周辺の植物が面白かったです。



ホソバヒメミソハギははじめての出会いだと思います。

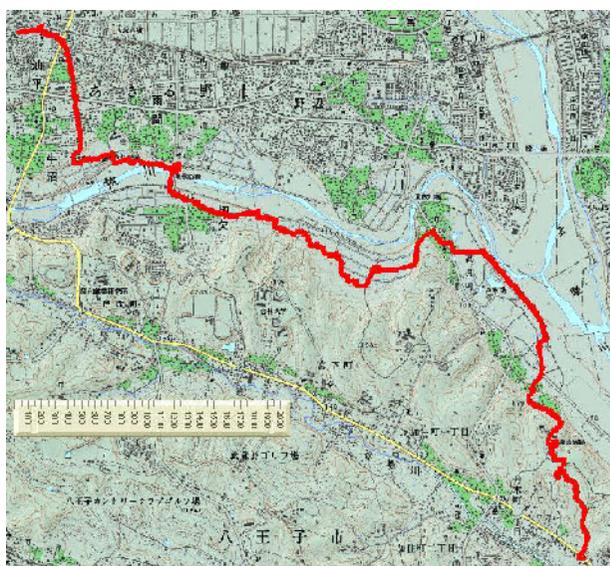
写真はキカシグサ・・・よく似たヒメキカシグサは花柱がほとんど無いのに対し、キカシグサには0.6mmほどの花柱があります。

高月町を抜ける道路は車で何度か通っていますが、車を停めて観察したことはありません。

あそこで秋川が多摩川に合流しているというのははじめて知りました。

滝山城址公園周辺もよさそうなフィールドです。滝山だけ、というコース設定もありそうですが、往復ともバスになってしまうのが難点ですね。

参加されたみなさま、お疲れさま &ありがとうございました。(T a)



T aさん、秋川～滝山城址オフに参加された皆さん、お世話になりました。最初はT aさんと二人だけの下見かなアと思っていたのが、ふたを開けてみたら10人以上の参加者がいてびっくりしました。

のどかな天気で、休耕田の畦ににしゃがみこんで昼食時間を過ごせたのも、幸せな時間でした。

矢川の定例観察会で大群落を見てしまった方には、あんまり有り難みがなかったかもしれませんが、私としては、大群落はなかったけれど、サクラタデが多少でも咲き残ってくれていたのも、やれやれという気持でした。

帰路が本数が少ないバスになるので、定例観察会に乘せるためには検討課題が多いコースですが、少人数で散策するにはとても良いコースです。個人的に再訪されることをお勧めします。(とーはもん)

〔観察記録〕 11月11日 草花丘陵

雨という予報だったのですが、午前中は幸いにも雨が落ちてこなくて、昼過ぎ少しの間だけ傘を差しただけで済みました。予報にもかかわらず羽村駅に集合されたのは40人の皆さんでした。

お目当てのカワラノギクは、地元の保存会の方たちの努力で、ちょうど見ごろで花を見ることが出来ました。今年が多摩川の増水で保護地の周りの杭も流されていたのを、探し出して再度打ち直したそうで、今年も花を見ることが出来るまで整備されていました。柵の中でセンダングサとコセンダングサを比較して見ることが出来ました。そばにカワラヨモギはありましたが、以前観察されたカワラニガナは探したのですが、今回は見つかりませんでした。

郷土博物館で昼食後、羽村神社まで登ってゴルフ場のそばを歩いてまた羽村堰下橋まで戻りましたが、結構急坂のあるゴルフ場のそばのハイキング道で雨にあわなくて良かったと思います。このコースは思ったよりシダの仲間が多いですね。今回はシダもじっくりと観察したいと思いました。

帰り道の禅林寺で桜の花が咲いていましたが、これはフユザクラでした。お配りした資料にもフユザクラとしてあったのに勘違いして済みません。キチジョウソウの花もきれいにさしていましたね。(FAM)

◇観察記録(出現順)

アブラススキ、コウヨウザン、キチジョウソウ(花)、フユザクラ(花)、ケヤキ、ツルヨシ、コセンダングサ(花)、ハリエンジュ、メドハギ、カワラノギク(花)、ツルマンネングサ、オオブタクサ、カワラヨモギ、ヒロハノカワラサイコ、ヨモギ、コセンダングサ、センダングサ、メナモミ、イタドリ、アレチウリ(花)(実)、アメリカイヌホオズキ(花)、スズメウリ(実)、ヌルデ、イボタノキ(実)、チカラシバ、

カゼクサ、ススキ、マメグンバイナズナ(花) (実)、マユミ(実)、ヤツデ、メグスリノキ (紅葉)、シュロ、シロダモ(花) (実)、ミズキ、イチョウ、センダン(実)、キリ、アオツツラフジ(実)、イノモトソウ、ヤブミョウガ(実)、ノブドウ、ノガリヤス、コボタンツル、センニンソウ、テリハノイバラ、ムラサキケマン、マルバウツギ、アオキ、クサギ、ヤブソテツ、イロハモミジ、ヤマコウバシ、ピンオーク、イヌツゲ(実)、タマサング(実)、ハナタデ(花)、カマツカ(実)、アメリカスズカケノキ、ヤマホトトギス、ヌスビトハギ(実)、ベニシダ、リョウメンシダ、イノデ、オオミソソバ、ヒガンバナ、ノブキ、タマアジサイ、ウマノミツバ(花) (実)、イラクサ、タイアザミ(花)、エゴマ、アキノタムラソウ(花)、ノササゲ(実)、コアカソ、モミジイチゴ、ヤマイタチシダ、ミゾシダ、コアジサイ、サネカズラ、コウヤボウキ(花)、イヌムラサキシキブ(実)、ミツバツツジ、ムラサキシキブ、ゼンマイ、ウワミズザクラ、イヌザクラ、アラカシ、ヒサカキ、シラカシ、アオハダ、ヤマツツジ、コゴメウツギ、テイカカズラ、アセビ、ツクバネウツギ、オトコヨウゾメ、ササクサ、ガマズミ、サンカクツル、ニシキギ、ゴンズイ(実)、オトコエシ、スイカズラ、マルバアオダモ、クズ、ズミ、フモトシダ、キハギ、ナガバジヤノヒゲ、アカシデ、イヌシデ、クマシデ、ヤマノイモ、オクモミジハグマ、カシワバハグマ、タケニグサ、ベニバナボロギク(花) (FAM)

* * * * *

○シベリアメドハギ

先日の美味しいオフの頃、話題になった「シベリアメドハギ」です。
網目状の葉脈と果実にもさもさ生えている毛が確認できます。





左 シベリアメドハギ

右 メドハギ

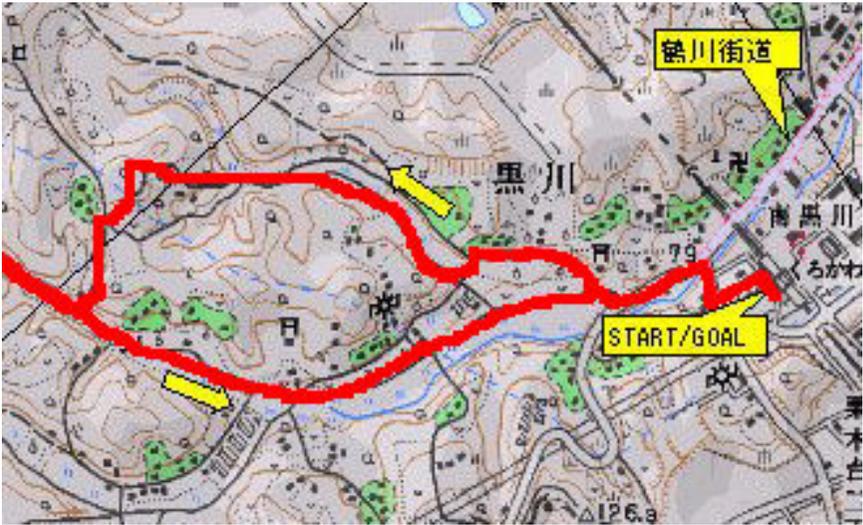
* * * * *

〔行事予定〕 2007/12/16 (日) 焼き芋大会

項目	説明
集合	午前10時、京王相模原線京王よみうりランド駅 ※会旗目標 京王よみうりランド駅の改札口は一個所だけです
交通	京王線調布駅から相模原線橋本行快速または各停で3駅目 京王よみうりランド駅には急行は停まりませんのでご注意ください
行く先 (解散場所)	稲城市穴沢天神での恒例・焼き芋大会です。穴沢天神で解散。最寄 駅は京王よみうりランド駅です 焼き芋準備グループと観察グループの2班に分かれて行動する予定 です
見所・その他	たき火(^_^) 冬芽、常緑シダなども観察します 当会の忘年会を兼ねます。芋、酔い子の飲み物などは幹事が用意し ます。差し入れ大歓迎！！
コース	観察グループのコース： 駅前～よみうりランド遊歩道～小沢城址～穴沢天神（焼き芋大会） （解散：15時30頃）

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日500円

〔行事予定〕 2008/1/19 (土) 黒川・七草摘み

項目	説明
集合	am10時、小田急多摩線・黒川駅南口階段下 ※会旗目標 改札口は一個所だけです
交通	小田急線・新百合ヶ丘駅より唐木田行きに乗換えて3駅目 京王相模原線・永山駅で小田急多摩線に乗換え2駅目です 京王線利用者は、京王相模原線・若葉台駅から徒歩(10分弱)が 便利
行く先 (解散場所)	黒川の谷戸で七草摘みをします。黒川駅にてpm3時頃解散予定
見所 その他	七草粥用のセリ、ナズナ、オギョウ(ハハコグサ)、ハコベラ(ハ コベ)、ホトケノザ(コオニタビラコ)などを摘みます。 摘んだ七草は翌日の七草粥用です。個人的に持ち帰ったりしないで ください
地図	
コース	黒川駅→汁守神社→(黒川の谷戸で七草摘み&昼食)→汁守神社→ 黒川駅(解散・・・15時ころ) (上の地図を参照ください) コースは天候その他により変更する場合があります

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円。

〔行事予定〕 2008/1/20 (日) 恒例・七草粥

項目	説明
集合	am10時、京王相模原線稲城駅 ※会旗目標
交通	京王線調布駅から相模原線橋本行快速または各停で4駅目 多摩モノレールの場合は多摩センター駅で京王線に乗換えて 3駅目 小田急線の場合は、永山駅、または多摩センター駅で京王線に 乗換え 稲城駅には急行は停まりませんのでご注意ください
行く先 (解散場所)	稲城市城山文化センター(向陽台)での恒例・七草粥です 会場の申込みは1ヶ月前なので、現時点では「稲城市城山文化セ ンター」は予定です 現地で解散。最寄駅は稲城駅です
見所 その他	当会の新年会を兼ねて七草粥を作り、皆で頂きます 2008年度の「稲城野草散策の会」の行事予定を決めます お汁粉、つまみ、お茶・ジュースなどの飲み物は幹事が用意します 差し入れ大歓迎!! 新年会での飲酒は最近の傾向から自粛することにして居ります

※雨天決行 参加申込み不要、会費当日500円

〔募集・2008年度観察会の推薦場所〕

2008年度の観察希望の場所を募集します。皆様からのご提案をお待ちします。
月例の場所としては、12月の焼き芋大会、1月の七草摘み、七草粥。稲城ふれ
あいの森、三沢川下りなど稲城での観察会を6回くらい、その他の場所8回。
バスハイク観察会1回を目安に考えています。

◆過去のバスハイク観察会は、下記。(FAM)

- 000806 (日) 乙女峠
- 010729 (日) 三ツ峠
- 020627 (日) 三窪高原
- 030724 (木) 高峰高原
- 040722 (木) 入笠山
- 050714 (木) 高ボッチ
- 060427 (木) 函南原生林
- 070720 (金) 霧ヶ峰高原